

令和5年度 能見台地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

一総括表一

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

能見台地域ケアプラザの担当圏域は、富岡西・能見台、能見台、金沢東部、金沢中部の4地区にまたがっており、それぞれ特徴的な地域活動が行われているエリアである。各地区の特性に応じて活動者、団体を支援し、情報交換を行い相互につなぐ役割をケアプラザが担っている。今後も身近な地域で住民の活動立ち上げ、継続を支援し、その情報を広く地域に提供していく。西柴地域ケアプラザ開設に伴う対象の地域住民が、不安なく移行できるよう引き続き調整と連携を行っていく。

□ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	□	地域が主体となった介護予防・社会参加の場が増えるようにリーダーとなる元気づくりマイスターの養成と、活動の後方支援を行っていく。 (「笑輪ん会」によるかなざわ葬斎館での健康セミナー1回/月・友引の日の開催、男性限定体操教室の立ち上げ)
■	□	個別ケースの課題から出た地域課題である買い物支援について、地域ケア会議や地域支えあい連絡会(協議体)などを通じて専門職や関係機関、地域住民への周知を図り、課題解決につなげていく。
□	■	誰もが住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、エンディングノートの他、救急情報提供用紙、救急あんしんカードの普及・啓発に努める。
□	■	地域の集いの場や話し合いの場に積極的に参加し地域の社会資源情報を収集すると共に、活動における課題を把握し、活動の発展・継続に向けて働きかけ、地域支援・個別支援につなげていく。
□	■	様々な連絡会など、地域の方の声に常に耳を傾け5職種間での連携をとり課題ニーズを把握し、地域のすべての方が孤立することなく参加できる事業を企画実施する。

◆ 事業報告・事業実績評価

□ 振り返り

新型コロナウイルス感染症5類移行後も引き続き感染対策を継続しつつ全ての事業・活動を再開しました。西柴地域ケアプラザ開所により相談件数は一時減少したものの微増しており、複合的な課題を抱えた相談も増加傾向です。コロナ禍の外出自粛によりフレイル(フレフレイル)状態の高齢者が増えていることから、体操教室やウォーキング講座、健康講話、男性限定のストレッチ＆トレーニング教室(5回コース)等積極的に実施し、介護予防、男性の社会参加促進に力を入れて取り組みました。特に横浜かなざわ葬斎館の友引の日に健康講座を定期的に実施し、葬斎館の社会貢献と元気づくりマイスター笑輪ん会の活動支援にも取り組みました。ペット写真展では80点余の応募があり、地域ケアプラザに来館し展示を楽しんでいただきました。地区保健活動推進員会との共催でボッチャの連続体験講座を実施し、近隣2ケアプラザと交流試合するまでに発展しています。10月14日合同祭(5年ぶり)、21日いきいきフェスタでは区内済生会7事業所で初めてブース出展し、多くの方と交流を深めました。地域ケア会議は『移動販売による買い物支援～地域のコミュニティを活かした介護予防・生活支援～』をテーマに情報共有や意見交換を行いました。5職種連携で地域との良好な関係を維持し、区、区社協とも連携して地域支援に取り組むことができました。

□ 区からのコメント

新型コロナウイルス感染症が5類となったこともあり、事業や活動が再開されております。さらには、体操教室の自主化を目指した動きや、ボランティアの育成を兼ねた健康セミナーの実施など新たな取組を行っていただき、社会資源の発掘につなげていただきました。西柴地域ケアプラザ開所による圏域変更に対しても、適切に引継ぎを行い、ご対応いただきました。圏域変更があつたことで増加した相談だけでなく、より複雑化する相談にも関係機関と連携を取りながらご対応いただきました。地域の担い手不足の解消のため、多世代交流イベントを開催するなど若い世代や子育て世代を中心に地域福祉への関心を呼び掛けていただきました。また、区内大学生向けのボランティア養成講座や、ボランティア団体が活躍できるような場づくりなど地域の方一人一人が自分事として地域課題をとらえることができるよう働きかけていただきました。移動販売をテーマとした会議の開催や、地域住民への買い物支援等の社会資源について情報発信するなど、地域特性に合わせた支援がされています。今後も地域資源やコミュニティを活かした地域支援を、関係機関と連携を強化しながら進めたいだければと思います。